

PTA 総会で講演会を実施しました

令和 6 年 4 月 26 日 (金)

令和 6 年度の PTA 総会が、4 月 26 日 (金) に実施されました。



そこで、京都大学大学院教育学研究科教授の楠見孝(くすみ たかし)先生に「探究学習による 21 世紀型スキルの育成: 高校生の未来を拓く」というタイトルで、保護者の皆様と本校職員に向けて、御講演いただきました。

楠見先生は、京都大学で思考、言語、記憶に関する教育認知心理学的研究をされ、昨今の教育的課題である批判的思考、リスク認知などを研究課題に取り上げてみえます。

昨年度、本校職員が京都大学を訪問し、楠見先生に探究的な学びを推進するために生徒や保護者の皆様に必要なお話をさせていただくようお願いし、今回の講演が実現しました。

お話の中で、「社会の変化と新しい学力の必要性」、「探究学習とは」、「探究学習で育てる汎用能力: 21 世紀型スキルの 4Cs」、「探究学習で育てる批判的思考」、

「探究学習を行っている高校の事例」、「大学入試改革と探究学習への注目」につ

愛知県立津島高校 令和6年度 PTA総会講演

2024.4.26

探究学習による 21 世紀型スキルの育成
— 高校生の未来を拓く —

京都大学大学院教育学研究科 楠見 孝

1. 社会の変化と新しい学力の必要性
2. 探究学習とは
3. 探究学習で育てる汎用能力: 21 世紀型スキルの 4Cs
4. 探究学習で育てる批判的思考
5. 探究学習を行っている高校の事例
6. 大学入試改革と探究学習への注目
7. まとめ: 津島高生が探究学習を通して 21 世紀型スキルを高めるために、

いて、スライドを活用しながらわかりやすく御説明いただきました。

講演の最後で探究活動の充実をすすめると、教科の学習時間が減り、入試の結果に結びつかないのではないかという懸念についてお話しされました。先生によるとそのような不安は、先進校のデータを分析すると全く杞憂に終わるそうです。探究活動をすすめ、興味・関心があることを深く学んでいくことによって、さらに学びに対する意欲が深まり、主体的に学ぶ姿勢ができることにより、かえって学力の伸長が客観的に証明されていることが説明されました。

講演会の最後の質疑応答では、「今日、保護者の皆様が家に帰ってすぐにできる探究的な問いかけは、どんなものでしょうか？」という質問に対して、楠見教授から「普段から『今日はどうだった？』』という問いかけをして、生徒から言葉を引き出し、それについて話題にすることで探究的な学びにつながるので、ぜひ実施してみてください。」という回答をいただきました。

今回、コロナ禍を乗り越え、かつての PTA 総会を復活させるだけでなく、アカデミックな講演を実施し、来年度から始まる津島高校・附属中学校の取組を先取りしました。これからも先進的な本校の取組の理解がすすむよう、アナウンスさせていただきます。

文責:金澤 以下参考資料です。

探究学習による 21 世紀型スキルの育成 — 高校生の未来を拓く —

京都大学大学院教育学研究科 楠見 孝

1. 社会の変化と新しい学力の必要性
2. 探究学習とは
3. 探究学習で育てる汎用能力: 21世紀型スキルの4Cs
4. 探究学習で育てる批判的思考
5. 探究学習を行っている高校の事例
6. 大学入試改革と探究学習への注目
7. まとめ: 津島高生が探究学習を通して21世紀型スキルを高めるために

1

1. 社会の変化と新しい学力の必要性

a. グローバル社会

グローバル社会では、国の障壁(経済、情報、言語、文化、習慣など)がなくなりつつある
—しかし、国、文化・価値観の衝突が発生

異なる文化・価値観を理解し、問題解決のために、**コミュニケーション**や**協働**するための能力とスキルが必要
[国際理解コース、国際探究科の重要性]

2

b. 社会や技術の変化が速い時代

- 知識は急速に古くなるため、変化に対応力をもつ必要
- 新たな知識を身につける学習能力に加えて**社会を変革する創造力**が必要
- [チェンジ・メーカーとなる人材育成]

c. 感染症や災害などのリスク社会

- これまでは、教科における正解がある与えられた(予測可能な)問題を、一人で早く解く能力を重視
→**探究学習**によって、**問題発見**し、世界の多様な背景をもつ人と**協働**して**正解のない問題を解決する能力**の育成が重要
[自ら課題を発見し、解決する、自ら成長する人物]

3

2 探究学習とは(楠見2017)

楠見 孝 (2017). 探究力と創造性の獲得. 藤澤伸介(編). 探究! 教育心理学の世界. 新曜社

- ① 自ら問題を発見し、
 - ② 調査・観察・実験等によって情報を収集して事実を明らかにし、
 - ③ 事実に基づいて、**論理的・批判的思考・判断**を行い、
 - ④ **導いた結論を表現したり、問題を解決し、検証したりする主体的学習活動**
- ・生徒が個人やグループでの探究学習に取り組むことによって大学における学問や研究の土台を形成し、「**主運にわたって探究を深める未来の創り手**」となる。(次科書, 2018)

4

3 探究学習で育てる汎用能力: 21世紀型スキルの4Cs

良き市民や働く人、**グローバルリーダー**として成功するための知識や技能 (ATC21s:米国の政府、IT企業の委員会で開催)

4Csは、社会の**問題解決**において重要

- ・**クリティカルシンキング** **批判的思考** **深い学び**
- ・**クリエイティビティ** **創造力**
- ・**コミュニケーション** **コミュニケーション**
- ・**コラボレーション** **協働** **知話的学び**

5

4 探究学習で育てる批判的思考

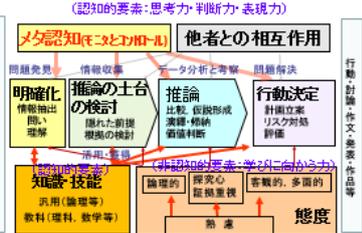
批判的思考とは

- a. 論理的で偏りのない思考、**多面的**、**客観的**に証拠に基づき筋道を立てて考える。
- b. 内省的思考であり、「相手を非難」するのではなく、**自分の思考を意識的に吟味**する。
- c. **汎用的な思考**であり、学習や社会にでてからの仕事、日常生活を支えている。
[国際バカロレア(IB)プログラムは、批判的思考を重視した探究学習のプログラム]

6

探究学習のための批判的思考のステップ

(楠見 2015 ワードマップ:批判的思考 新編社発改変)



7

5 探究学習を行っている高校の事例 京都府立嵯峨野高校の3年間の探究学習

- 1年: 1学期批判的思考、問題解決手法の習得
2-3学期グループ研究
- 2年: 1-2学期 グループ研究
3学期 ポスター発表
- 3年: 個人研究
英語の口頭発表

<https://www.kyoto-be.ne.jp/sagano-hs/mt/gijir/aboi/>

8

6 大学入試改革と探究学習への注目

- ・義務教育-高校教育-入試-大学教育を一貫したものとして接続するためのシステム改革
- ・入学希望者が増えてきた「**学力の3要素**」を(知識・技能)(思考力・判断力・表現力)(主体性、多様な人との協働学習態度)多面的・総合的に評価するように転換
- ・グローバル化などの社会変化に対応できる、生涯を通して**主体的に学び考える力**の育成を重視→**探究学習**による育成
- ・2021年度から入試における**個別選抜の改革**と**共通テスト**導入

9

7 まとめ: 津島高生が探究学習を通して 21世紀型スキルを高めるために

1. 批判的に考える方法を身につける
 - 授業において、情報の**明確化**などのスキルを明示的に教えて、学習者に意識、習得させる
 - 探究的課題、日常生活の中で活用できるように
2. 立ち止まって考える態度を身につける
 - 家庭、学級や学校を、批判的思考が日常的にできる場にする
 - 思い込みがない、多面的に考えているかを振り返る
 - 異なる意見に耳を傾ける
 - ・ お互いの気持ちや価値観に配慮しつつ、自分の考えを説明して話し合い問題解決

10

3. 良い経験を積むために**挑戦する機会**を用意する

- 質の高い探究学習、行事、グループ活動への参加によって、探究心を刺激する。
- 学ぶこと、達成することへの喜びを味わう
- 多様な他者と**相互作用**して、困難を克服して、目標達成のために、**協働する経験**を積み重ねる

4. 自分の思考過程と経験を**ふりかえる習慣**と**ツールの用意**(日記など)

- ・毎晩書く、1日で行かない、目標を書く
 - ・反省点や教訓を書く、読み返す
 - ・うまくいかない点を成長に結びつける
- ・学ぶ意味を長期的目標に位置づける
 - ・目標を持つ: ティスのためだけでなく、人生における意義
 - ・進歩、熟達、達成の喜びを知る、得意分野の発見、自信

11